

放牧時の下痢あるいは赤血球の減少の原因の究明、吸血昆虫の防除と忌避剤の開発が急がれる。

2. 個別経営

1. 畜舎の増改築

規模拡大につれて牛舎の増改築に迫られているがこの資金の調達に行政的強い措置が望まれる。また多雪地帯の畜舎様式についての検討が必要である。

2. 冬期飼料の調達

多頭化が進むにつれ冬期粗飼料の調達確保が経営成否

の鍵となるであろう、このため機械作業体系による計画的な共同作業体制を強化する必要がある。また人工草地のみに依存せず、野草地の大巾な利用を考えねばならない。

3. 飼育技術の向上

肉牛の飼養慣行はかなり古い、その水準は高いとは云えない。したがって体系的な技術指導が望まれるが、現在結成されている草地利用組合、和牛改良組合などの組織を活用して研究グループを育成し技術の向上を図ることが望ましい。

福島県における和牛飼養の現況と問題点

吉 根 浩 太 郎

(福島県畜試 熱海支場)

東北全般の肉牛について論ずる場合にも、その中にある地域的な特性を見落すことはできない。

福島県の肉牛についてもそのような意味で多少異なったニュアンスがあるものと思われる。それは現在本県に飼育されている58,000頭の肉牛のうち、99%以上のものが黒毛和種を主体とする和牛によって占められ、肉牛について検討する場合、常に和牛を主流として考えてゆかなければならないということであろう。

本県における和牛の飼育頭数は、昭和35年から39年にかけて増加したが、39年の75,000頭を頂点として、以後減少あるいは横這いの傾向にある。

そして、この飼育頭数の推移には、明らかな地域差がみとめられ、東北本線を中心とする中通りの都市周辺部において減少が著しく、阿武隈山系および会津の山間部では比較的減少の度合いが低い。むしろこれらの地域の中には部分的に増加の傾向を辿っているものも見受けられる。

肉牛に関するこのような動きは、当然の推移であろうが、前者は、かつて先進地として飼養技術の水準も高く改良も進んだ地域であったのに対して、後者は比較的技術水準もおくれ、経営耕地の規模も少なく、ただ、山林などの未開発資源を多く持っているといった地域である。

これらの動きは、本県ばかりでなく全国的な傾向であり、また必然的な推移と思われ、さらに、今後は後者のような地域が肉牛生産の基地的な性格を帯びてくること

も予測される。

本県の場合も、それらの地域において、新しい飼養形態としての山および草地との結びつきによる経営が検討されるようになり、すでに幾つかの事例も生まれている。

しかし、現実には検討の段階においてもまた、既成の事例の中にもそれぞれ問題を抱え、経営の拡大につながる例も意外に少なく、伸び悩みの状態にあるものが多い。

そして、現在これらの問題点として考えられることは

(1) 今の子牛価格が維持されるならば、さらに1頭か2頭の飼育増をはかりたいという希望を持ちながら、その導入資金のメドがつかないために、まだ、従来の零細な規模にとどまり、積極的な耕地以外の土地利用にまで発展し得ないこと。

(2) また、経営的にも、夏期には放牧飼養の形をとおして殆んど問題もなく山や草地と結びつきながら冬期間の貯蔵飼料確保のためには、道路、地形、労力等多くの問題を残し、合理的な利用形態を生み出し得ないこと。

(3) さらに、技術的にもこれらの地域が比較のおくれてきたところであり、特に肉牛の中でも粗放性が低く、また、個々の牛にかなり個体差が生じ易い和牛については、省力的な粗放飼育の中でもなお生産能力を低下させないようなキメの細かい放牧技術が必要と考えられるが、まだそのような技術が平準化されていないため、放

牧の効果が十分に発揮されず、飼育者の中に多少の不安感があることなどがあげられると思う。

そこで、今後東北の肉牛を期待されるような形で発展させてゆくためには、これらの問題点を解決してゆくことが先決であり、そのためには、

(1) 山地あるいは草地のより高度な利用体系を確立することが必要であり、その一環として、周年放牧利用形態の技術および採草利用方式、特に調製・運搬等作業体系の研究、さらに、

(2) 放牧肉牛についての妊娠期、保育期、育成期など

各飼育段階に応じた放牧形態、例えば牧区の選定、補助飼料の給与、施設あるいは種付けの方法など、より生産性を高めるための技術の検討が必要と考えられる。

そして、これらの技術は、具体的なものとして平準化され早期に普及されなければならないものと思う。

なお、今後東北の肉牛については、外国種の利用あるいは交配等を含み、種々の肉牛が生産される可能性を考慮し、生理機構をもとにした産肉性の研究、並びに肉質の化学的な分析が行なわれ、これらをもとにした格付けによって合理的な市場性を得ることが望ましい。